

New チョイス & チェンジ

【変額個人年金保険(11)】

特別勘定運用レポート 2012年1月発行 (2011年12月末基準)

～ご案内～

<特別勘定運用レポートについて>

- 当レポートは、特別勘定の運用概況や運用実績をお知らせするためのものです。
- 当レポートは、変額個人年金保険(11)「Newチョイス&チェンジ」の生命保険契約の募集および主たる投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 各データの基準日から特別勘定運用レポートのご提供まで、各種データの収集、加工等のためにお時間をいただいておりますことをご了承ください。

<クレディ・アグリコル生命からの情報提供>

- クレディ・アグリコル生命 Webサイト
 - ・最新のユニットプライスは当社Webサイトでご確認いただけます。
 - ・積立金額やご契約内容等は、当社インターネット・サービス マイページにてご確認いただけます。
<http://www.ca-life.jp/>
- クレディ・アグリコル生命 カスタマーサービスセンター
 - ・各種変更手続やご契約内容に関するお問合せ等は下記までご連絡ください。

 **CRÉDIT AGRICOLE**
LIFE INSURANCE
クレディ・アグリコル生命

カスタマー
サービスセンター



0120-60-1221

受付時間：
月～金曜日 9:00～17:00
(祝休日・年末年始の休日を除く)

・当レポート中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・商品の詳細については、「商品パンフレット 兼 契約締結前交付書面<契約概要/注意喚起情報>」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」等でご確認ください。

 **CRÉDIT AGRICOLE**
LIFE INSURANCE
クレディ・アグリコル生命

特別勘定の種類

特別勘定名	主な投資対象となる投資信託名	特別勘定の運用方針	運用会社	信託報酬率	
株式	日本株式 (RG4)	りそな・日経225 オープンVA (適格機関投資家専用)	国内株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。	アムディ・ジャパン株式会社	年率0.3150% (税抜0.3%) 程度
	グローバル株式 (RG4)	アムディ・世界好配当株式VA (適格機関投資家専用)	日本を含む世界各国の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムディ・ジャパン株式会社	年率0.8085% (税抜0.77%) 程度
	ブラジル株式 (RG4)	ノムラブラジル株式ファンドVA (適格機関投資家専用) 愛称:リオVA	ブラジルの株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	野村アセットマネジメント株式会社	年率0.9975% (税抜0.95%) 程度
	インド株式 (RG4)	CAりそなインドファンドVA (適格機関投資家専用) 愛称:マハラジャVA	インドの株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムディ・ジャパン株式会社	年率0.1470% (税抜0.14%)程度 (実質税込: 最大年率0.8470%程度)*1
債券	日本国債 (RG4)	ダイワ日本国債ファンドVA (適格機関投資家専用)	日本国債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に安定した投資成果をあげることがを目標とします。	大和証券投資信託委託株式会社	各期ごとに決定*2
	円ヘッジ債券 (RG4)	アムディ・ジャパン・プラス債券ファンドVA (適格機関投資家専用) 愛称:円のソムリエVA	日本を含む世界の国債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に安定した投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行います。	アムディ・ジャパン株式会社	年率0.3150% (税抜0.3%) 程度
	海外国債 (RG4)	SG 海外国債インカムファンドVA (適格機関投資家専用)	日本を除く主要国の政府または政府機関の発行する債券を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に安定した投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムディ・ジャパン株式会社	年率0.4830% (税抜0.46%) 程度
	オセアニア債券 (RG4)	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープンVA (適格機関投資家専用) 愛称:杏の実VA	オーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての債券を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	大和証券投資信託委託株式会社	年率0.4725% (税抜0.45%) 程度
	ブラジル債券 (RG4)	りそな ブラジル・ソブリン・ファンドVA (適格機関投資家専用)	ブラジル・リアル建ての債券を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	大和証券投資信託委託株式会社	年率0.5250% (税抜0.5%) 程度
不動産投資信託	グローバルリート (RG4)	CA グローバルREIT ファンドVA (適格機関投資家専用)	日本を含む世界各国の不動産投資信託証券(REIT)を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	アムディ・ジャパン株式会社	年率0.5040% (税抜0.48%) 程度
金融市場	マネーパール (RG4)	CA マネーパールファンド (適格機関投資家専用)	円建の短期公社債および短期金融商品を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって安定的な運用を行います。	アムディ・ジャパン株式会社	各月ごとに決定*3

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

特別勘定の種類

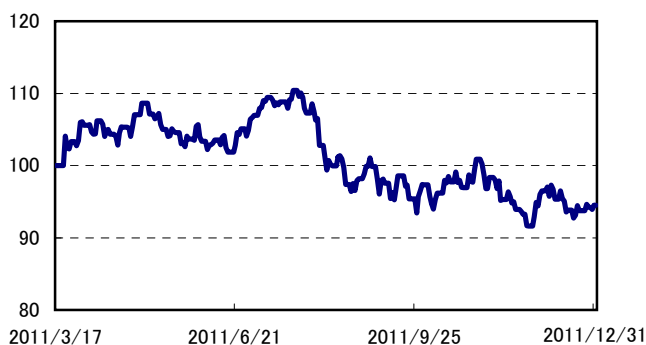
- * 1 CARソナインドファンドVAはいわゆるファンド・オブ・ファンズであるため、運用にかかる実質的な信託報酬は、当該投資信託と、その投資対象である他の投資信託の信託報酬等の合計となります。投資対象となる投資信託の組入状況によって、実質的な信託報酬は変動します。
- * 2 ダイワ日本国債ファンドVAの信託報酬は以下のとおりとなります。
 - ①信託報酬の総額は、純資産総額に対して年率0.3255% (税抜0.31%) 以内とします。
 - ②前①の信託報酬率は、毎期、前計算期間終了日 (第1計算期間については当初設定日の前営業日) における新発10年国債の利回り (日本相互証券株式会社発表の終値) に応じて、純資産総額に対して以下の率とします。新発10年国債の利回りが、2%未満の場合は年率0.1575% (税抜0.15%)、2%以上3%未満の場合は年率0.1995% (税抜0.19%)、3%以上4%未満の場合は年率0.2415% (税抜0.23%)、4%以上5%未満の場合は0.2835% (税抜0.27%)、5%以上の場合は年率0.3255% (税抜0.31%)
- * 3 CAMマネープールファンドの信託報酬は以下のとおりとなります。
 - ①信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に②の率を乗じて得た額とします。
 - ②信託報酬率は、各月ごとに決定するものとし、前月の最終営業日の翌日から当月の最終営業日までの当該率は、各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.315 (税抜0.3) を乗じて得た率とします。ただし、当該率が年0.0525% (税抜0.05%) 未満の場合には、年0.0525% (税抜0.05%) の率とし、年0.3675% (税抜0.35%) を超える場合には、年0.3675% (税抜0.35%) とします。なお、当該指標が改廃等の場合は、委託会社が定める指標を用いることとします。

* 特別勘定についての詳細は「特別勘定のしおり」をご覧ください。

特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

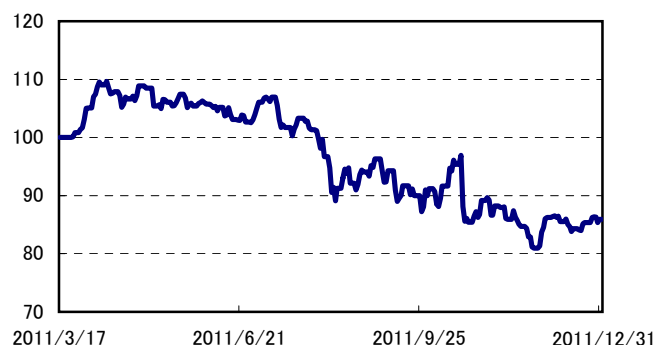
(2011年12月31日現在)

日本株式 (RG4)



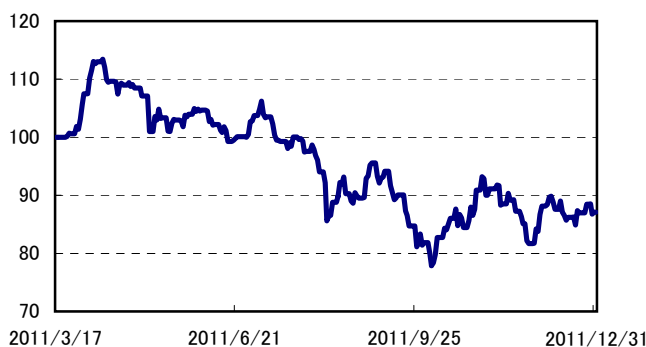
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	0.08%		
	3ヵ月	-2.92%	現預金等	5.52%
	6ヵ月	-11.38%		
	12ヵ月	—		
設定来	-5.50%			
94.50				

グローバル株式 (RG4)



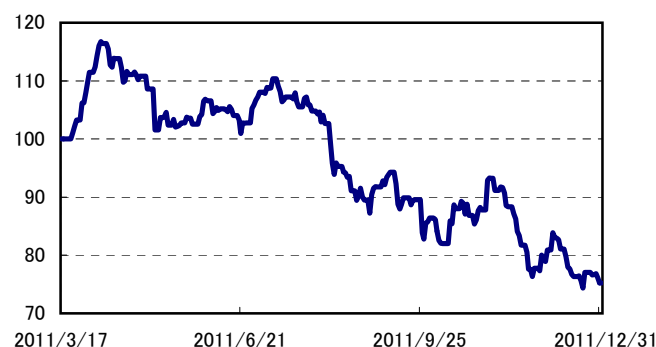
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	1.66%		
	3ヵ月	-5.81%	現預金等	5.36%
	6ヵ月	-18.20%		
	12ヵ月	—		
設定来	-14.07%			
85.92				

ブラジル株式 (RG4)



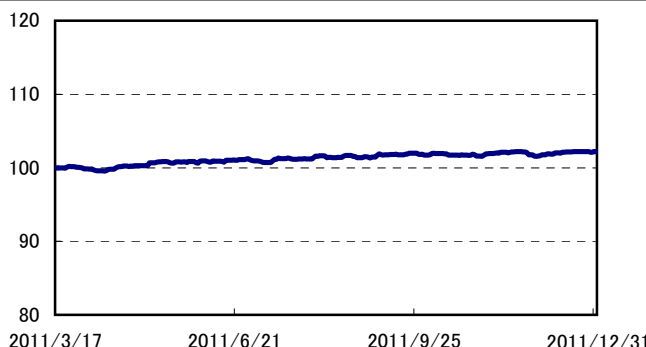
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	3.93%		
	3ヵ月	6.37%	現預金等	5.20%
	6ヵ月	-15.31%		
	12ヵ月	—		
設定来	-12.93%			
87.06				

インド株式 (RG4)



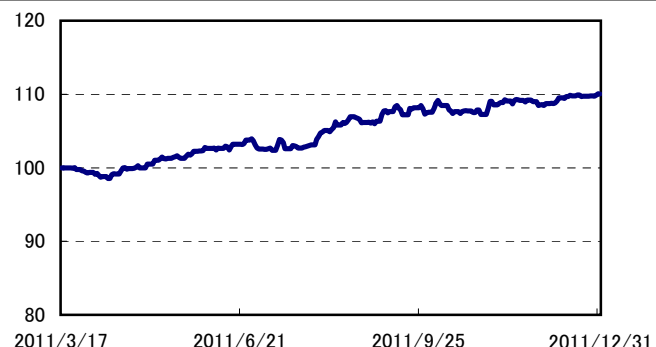
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	-4.91%		
	3ヵ月	-12.89%	現預金等	5.27%
	6ヵ月	-29.82%		
	12ヵ月	—		
設定来	-24.75%			
75.25				

日本国債 (RG4)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	0.62%		
	3ヵ月	0.46%	現預金等	5.07%
	6ヵ月	1.22%		
	12ヵ月	—		
設定来	2.21%			
102.20				

円ヘッジ債券 (RG4)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	1.29%		
	3ヵ月	2.31%	現預金等	6.33%
	6ヵ月	7.17%		
	12ヵ月	—		
設定来	10.02%			
110.02				

※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。

※ユニットプライスとは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

・「Newチョイス&チェンジ」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。

・この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

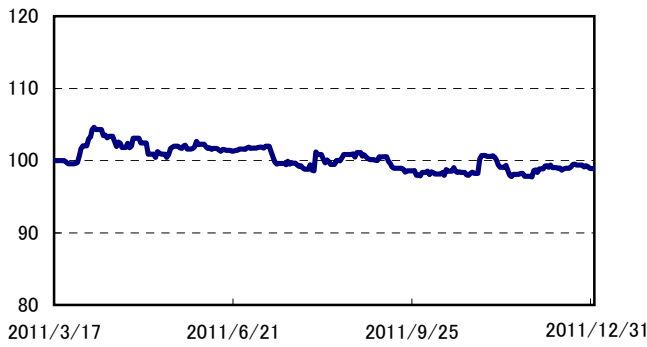
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄（投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等）を記載しております。必ずご確認ください。

特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

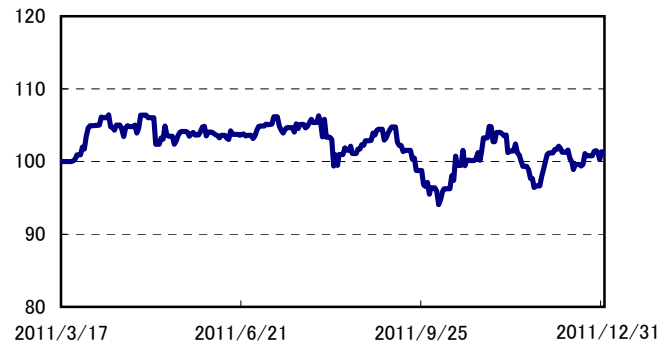
(2011年12月31日現在)

海外国債(RG4)



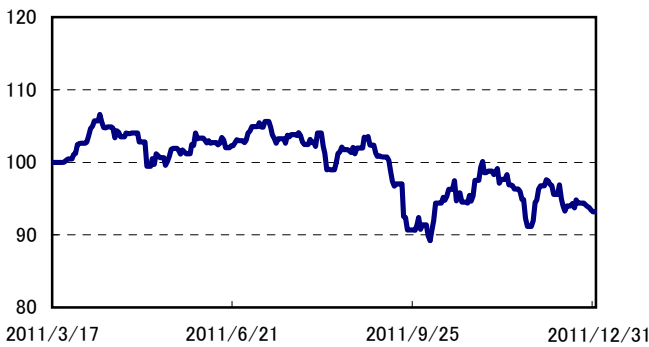
ユニットプライス	騰落率		資産構成比				
	98.89	1ヵ月			0.19%	投資信託	95.56%
		3ヵ月			0.56%		
		6ヵ月			-2.75%		
		12ヵ月			—		
設定来		-1.10%	現預金等	4.44%			

オセアニア債券(RG4)



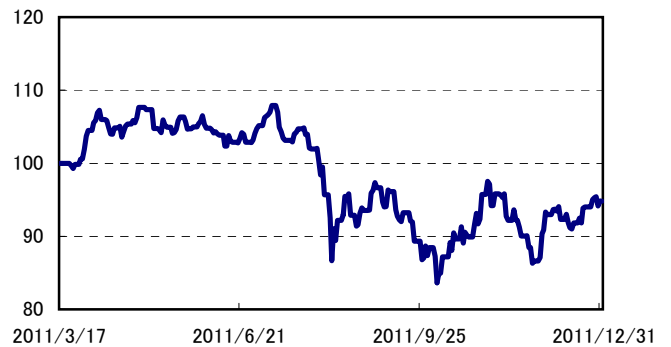
ユニットプライス	騰落率		資産構成比				
	101.32	1ヵ月			1.24%	投資信託	95.16%
		3ヵ月			5.12%		
		6ヵ月			-3.36%		
		12ヵ月			—		
設定来		1.33%	現預金等	4.84%			

ブラジル債券(RG4)



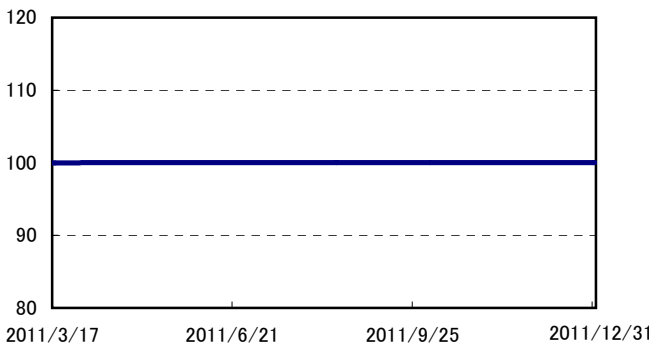
ユニットプライス	騰落率		資産構成比				
	93.18	1ヵ月			-1.69%	投資信託	95.16%
		3ヵ月			1.97%		
		6ヵ月			-10.64%		
		12ヵ月			—		
設定来		-6.81%	現預金等	4.84%			

グローバルリート(RG4)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比				
	94.80	1ヵ月			4.34%	投資信託	95.65%
		3ヵ月			7.15%		
		6ヵ月			-9.50%		
		12ヵ月			—		
設定来		-5.19%	現預金等	4.35%			

マネープール(RG4)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比				
	100.01	1ヵ月			0.01%	投資信託	57.81%
		3ヵ月			0.01%		
		6ヵ月			0.01%		
		12ヵ月			—		
設定来		0.02%	現預金等	42.19%			

※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。
 ※ユニットプライスとは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。
 ※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

・「Newチョイス&チェンジ」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 ・この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本株式(RG4)

【特別勘定が投資する投資信託】

りそな・日経225オープンVA (適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

日経平均株価に連動する投資成果を目指します。
日経平均株価採用銘柄(225銘柄)の中から、原則として200銘柄以上に等株数投資を行います。
株式の組入比率は原則として高位に保ち、運用の効率化を図るため株価指数先物取引等を併用することがあります。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.35%	-2.80%	-13.13%	-15.89%	-0.24%	-15.93%
日経平均株価	0.25%	-2.82%	-13.86%	-17.34%	-4.56%	-22.43%
差	0.10%	0.02%	0.73%	1.45%	4.33%	6.50%

◆ ファンド概況

基準価額	8,407円
純資産総額	96百万円
設定日	2004年11月25日
決算日	7月11日
信託期間	無期限

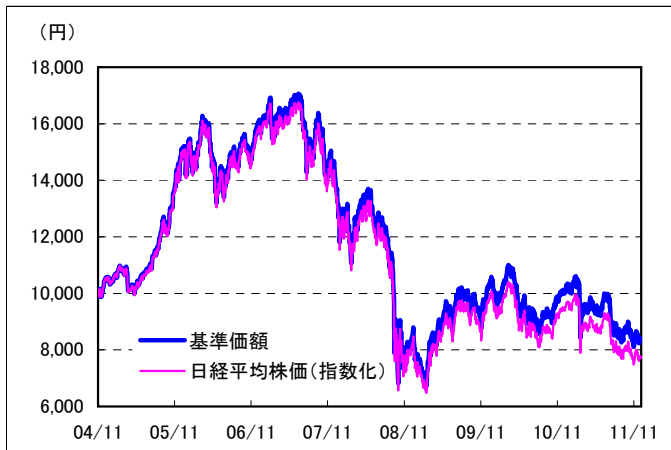
◆ 資産構成比

実質株式組入比率	99.94%
うち現物	95.11%
うち先物	4.83%
現預金等	0.06%

◆ 主なリスク

価格変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンドの設定日からの推移を示したものです。
- ・日経平均株価は当ファンド設定日を10,000として指数化しております。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

12月の日本株式市場は、月初から上値追いの展開となりました。前月末に主要6中銀がドル供給の拡充策を決定し、欧州財政・金融不安が後退したこと、また米国や中国の製造業景況感が予想以上の改善をみせたこと、および中国が中央経済工作会議でインフレ抑制から成長重視に転換すると決定したことが買い意欲を高めました。しかし8日にECB(欧州中央銀行)が2ヵ月連続で政策金利を引き下げたものの、ECB総裁は国債購入増額を明確に否定し、8-9日に開催された欧州首脳会議では財政規律強化や恒久的金融安全網の早期稼働を決定したものの、イギリスが新たな財政協定への不参加を表明するなど足並みの乱れもあり、不透明感が増し、株式市場は次第に売り優勢となってきました。加えて、発表されてきた機械受注は2ヵ月連続減少、法人企業景気予測調査における今年度設備投資計画は大幅下方修正、日銀短観では海外景気減速、欧州債務危機の伝播、円高定着による製造業利益見通しの下方修正を示したため市場下落に拍車がかかりました。19日には北朝鮮の金正日総書記の死去が伝わり、地政学リスクが意識され下げ幅を広げました。しかし、下旬に入ると、米国の好調な景気指標を手がかりに米国株が反発し、日本株も堅調さを取り戻しました。もっとも日本独自の買い材料は乏しく、出来高も極端に低調となったことや、ユーロが対円で10年半ぶりの安値をつけたことで輸出関連株が敬遠されたことも影響し、相場の反発は小幅にとどまりました。
日経平均株価は前月末比0.25%上昇の8,455.35円で取引を終えました。

◆ 組入上位10銘柄*

順位	銘柄	業種	比率
1	ファーストリテイリング	小売業	6.31%
2	ファナック	電気機器	5.31%
3	ソフトバンク	情報・通信業	3.07%
4	京セラ	電気機器	2.79%
5	キヤノン	電気機器	2.31%
6	KDDI	情報・通信業	2.23%
7	本田技研工業	輸送用機器	2.12%
8	東京エレクトロン	電気機器	1.76%
9	信越化学工業	化学	1.71%
10	テルモ	精密機器	1.63%
組入全銘柄数: 225 銘柄		上位10銘柄合計	29.23%

◆ 組入上位5業種*

業種	比率
電気機器	19.65%
小売業	9.12%
情報・通信業	8.85%
医薬品	6.89%
化学	6.36%

*各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

グローバル株式(RG4)

【特別勘定が投資する投資信託】

アムンディ・世界好配当株式VA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

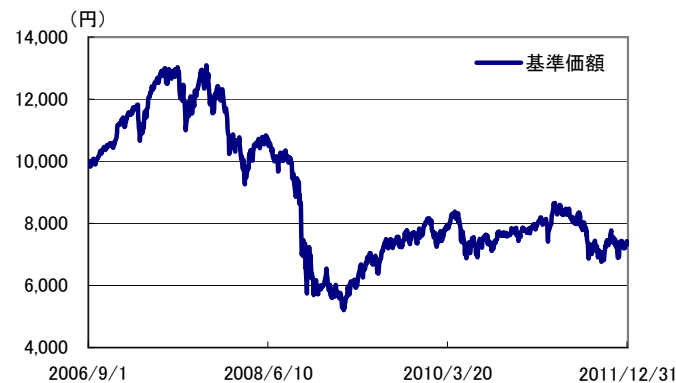
- 「アムンディ・グローバル好配当株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、MSCIワールド・インデックスの採用国・地域における上場株式を実質的な投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。
- 配当利回りおよび株価の安定的な成長に着目した銘柄選択により、先進国を中心とした世界各国の好配当株式に分散投資を行います。
- 株式の実質組入比率は原則として高位を保ちます。
- ポートフォリオの構築にあたっては、分散投資を基本としリスク分散を図ります。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- 資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、暫定的に上記と異なる運用を行う場合があります。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	2.22%	4.34%	-9.82%	-4.11%	21.62%	-26.20%

・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。

・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率	配当利回り
1	オーストラリア&ニュージーランド銀行	金融	2.90%	7.71%
2	パワー・アセット・ホールディングス	公益	2.42%	3.63%
3	CLPホールディングス	公益	2.41%	3.74%
4	ウェストパック銀行	金融	2.34%	6.83%
5	ファイザー製薬	ヘルスケア	2.20%	4.01%
6	ユニリーバ	生活必需品	2.11%	3.46%
7	ザノフィ	ヘルスケア	2.09%	4.76%
8	グラクソ・スミスクライン	ヘルスケア	2.07%	4.84%
9	スタイル	その他	2.00%	4.20%
10	メルク	ヘルスケア	1.78%	4.41%
組入全銘柄数: 91 銘柄		上位10銘柄合計	22.30%	

・各比率はマザーファンドの純資産総額比です。また、業種分類は、アムンディ・ジャパン株式会社が独自に定めた分類方法で表示しております。

◆ ファンド概況

基準価額	7,380円
純資産総額	316百万円
設定日	2006年9月1日
決算日	原則 8月25日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質株式組入比率	97.59%
うち現物	97.59%
うち先物	0.00%
現預金等	2.41%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク等

◆ 市況コメント

ギリシャの財政が綱渡りを続ける中、ECB(欧州中央銀行)理事会や欧州連合首脳会合で打ち出された様々な対策は、規模や即効性の面で当初は懐疑的に受け止められたものの、一定の成果はあり、銀行への資金供給強化策などは、月後半にかけて徐々に効力を発揮しました。アメリカでは、雇用や年末商戦が期待通りの進展を見せ、金融政策に変更はありませんでした。12月の日銀短観は、景気足踏みを示唆する弱めの内容でした。ドル/円は10月末の介入後、小動きが続いていますが、ユーロはECBが2か月連続で利下げしたこともあり、対円で3%を越す続落、英ポンドも1%あまり下落しました。先進7カ国の国債利回りは、依然不安定な動きが続くイタリアを除き、低下傾向となりました。世界株式は11月末からの5%近い上昇を中旬にかけて失い、年末にかけて上旬の高値付近まで反発する展開でしたが、アジア・オセアニアは目立った反発を示さず、月間で小幅下落となりました。その他の3地域は月間3%から5%前後の上昇でした。業種別では、ヘルスケアが7%を越す上昇、金融、生活必需品、エネルギー、資本財などが4%台、公益と通信は3%台、一般消費財と情報技術は2%台でしたが、中旬にかけて大きく下落した素材は11月末の水準をこらうじて回復して年末を迎えました。

◆ 組入業種配分、地域配分、予想配当利回り

業種	比率
公益	29.05%
生活必需品	18.94%
ヘルスケア	16.17%
金融	15.83%
電気通信サービス	9.62%
その他	8.00%

地域	比率
北米	25.04%
ユーロ圏	22.92%
その他欧州	25.46%
アジア・オセアニア	24.18%

・各比率はマザーファンドの純資産総額比です。また、業種分類は、アムンディ・ジャパン株式会社が独自に定めた分類方法で表示しております。

予想配当利回り	
ファンド	5.57%
MSCIワールド・インデックス	3.02%

・配当利回りは、ブルームバーグのデータを基にアムンディ・ジャパン株式会社が各銘柄の当会計年度の予想DPSを基準日の株価で割って算出してあります。

・MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が公表する世界の株式市場の動きを示す代表的な指数で、主に先進国の上場企業で構成されています。ただし、インデックス採用国・地域については定期的に見直しが行われ、変更されることがあります。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、

内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

ブラジル株式(RG4)

【特別勘定が投資する投資信託】

ノムラブラジル株式ファンドVA(適格機関投資家専用)

<愛称:リオVA>

【運用会社】 野村アセットマネジメント株式会社

【投資顧問会社】 BNY メロン ARX インベスティメントス LTDA

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

◆ブラジルの企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)*^{※1}を実質的な主要投資対象^{※2}とし、信託財産の成長をはかることを目的として積極的な運用を行いません。
◆実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

※1 Depository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
※2 ファンドは、「ノムラブラジル株式マザーファンド」を親投資信託(「マザーファンド」といいます。)とするファミリーファンド方式で運用します。「実質的な主要投資対象」とは、マザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	3.87%	5.59%	-20.43%	-	-	-18.41%

・騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

・3年の騰落率は年率平均(複利ベース)です。

◆ ファンド概況

基準価額(分配金控除後)	8,159円
純資産総額	154百万円
設定日	2011年3月1日
決算日	原則 6月19日
信託期間	無期限

※初回決算日は
2012年6月19日

◆ 資産構成比

実質株式組入比率	91.57%
うち現物	91.57%
うち先物	-
現金預金等	8.43%

◆ 主なリスク

価格(株価)変動リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ (設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および上記の基準価額騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。

◆ 組入上位10銘柄 (マザーファンドベース)

	銘柄	業種	純資産比
1	ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR	商業銀行	8.80%
2	ULTRAPAR PARTICIPAC- SPON ADR	石油・ガス・消耗燃料	6.83%
3	PETROBRAS-PETROLEO BRAS-PR	石油・ガス・消耗燃料	6.82%
4	TELEFONICA BRASIL-ADR	各種電気通信サービス	4.75%
5	BRASIL TELECOM SA-ADR	各種電気通信サービス	4.27%
6	VALE SA-PREF A	金属・鉱業	3.82%
7	BANCO DO BRASIL SA	商業銀行	3.69%
8	AES TIETE SA	独立系発電事業者・エネルギー販売業者	3.57%
9	LOJAS AMERICANAS S.A.(PREF)	複合小売り	3.19%
10	TRACTEBEL ENERGIA SA	独立系発電事業者・エネルギー販売業者	2.63%
	組入全銘柄数: 40 銘柄	上位10銘柄合計	48.37%

◆ 市況コメント

<先月の投資環境>

○ブラジル株式市場では、ボバサ指数は月間で2.63%の上昇となりました。ブラジル株式市場は、11月30日にブラジル中央銀行が政策金利の引き下げを行なったことや、ブラジル政府がOF税(金融取引税)の税率引き下げなどの一連の景気刺激策を発表したことなどから上昇して始まり、その後もEU(欧州連合)首脳会議で財政規律強化や救済基金拡充などについて基本合意したことなどが好感され、上昇しました。月中は、欧州債務問題の解決への見通しが不透明なことなどを背景に、投資家がリスク回避の姿勢を強めたことなどから下落しました。しかし、その後、米国で市場予想よりも良好な経済指標が発表されたことや、ブラジルの11月失業率が市場予想よりも低かったこと、商品相場が上昇したことなどを受けて、ブラジル株式市場は再び上昇し、月間でも上昇となりました。

○為替市場では、欧州債務問題の解決への見通しが不透明なことなどを背景に、投資家がリスク回避の姿勢を強めたことなどからリアルが売られ、リアル・円レートは月間でリアル・円高となりました。

<今後の運用方針>

○ブラジル経済は、中長期的に主要先進国よりも高い成長が見込まれていますが、消費者物価の抑制と安定的な経済成長という難しい政策運営を迫られています。また、短期的には欧州における債務問題の動向に左右される展開が継続すると考えられるため、そうした状況を注視して運用を行ないます。

○銘柄選択は、

①予想収益、成長性、予想配当利回り、リスク/流動性調整後のバリュエーション(投資価値評価)等の観点から定量的スクリーニングに従ってランキングし、自動的に投資基準を満たさない銘柄を投資ユニバース(母集団)から除外します。

②多数の基準に従って銘柄を選考した後、更なる追加的なアルファ(超過収益)の投資機会を得るため、マクロ経済シナリオ、セクタートレンド、配当政策、コーポレートガバナンス(企業統治)等の観点から分析します。

③サイズ、セクター分散等を考慮した上で、定量モデルによる最適化を行ないます。

○株式の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。なお、現地市場が休場等の場合や市況動向によっては、一時的に実質株式組入比率を引き下げる場合があります。

○ファンドは、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

◆ 組入上位5業種 (マザーファンドベース)

業種	純資産比
商業銀行	15.30%
石油・ガス・消耗燃料	14.88%
金属・鉱業	14.05%
各種電気通信サービス	11.41%
電力	6.69%

・当資料は、野村アセットマネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

インド株式(RG4)

【特別勘定が投資する投資信託】

CARIそなインド ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称:マハラジャVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用することを基本とします。
 ・主として、インドの株式(ADR(米国預託証券)及びGDR(グローバル預託証券)を含む)に投資を行うファンドと本邦通貨表示の短期公社債等に投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-6.57%	-15.64%	-33.79%	-39.01%	23.85%	-45.27%

◆ ファンド概況

基準価額	5,473円
純資産総額	276百万円
設定日	2008年6月2日
決算日	原則 4月20日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

Amundi Funds エクイティ・インディア	98.33%
CAマネープールファンド	0.42%
現預金等	1.26%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
 ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

12月のムンバイSENSEX30種指数(現地通貨ベース)は前月末比で4.1%下落しました。
 景気減速に対する懸念は根強く、インド株式市場は11月に続き軟調に推移し、2011年の取引を終えました。10月の鉱工業生産指数は前年同月比-5.1%となり、2年4か月ぶりにマイナスに転じました。この要因としては、18か月にわたる金融引き締めの影響や、輸出の減速などが挙げられます。11月のWPI(卸売物価指数)は前年同月比+9.11%と依然として高い水準にありますが、インド準備銀行(中央銀行)はこれまでの引き締め政策を変更する用意があり、今後は経済成長の促進にこれまで以上に焦点を当てることを示唆しました。

「マハラジャVA」が投資する「Amundi Funds エクイティ・インディア」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率
1	インフォシス	情報技術	9.01%
2	HDFC	金融(除く不動産)	8.26%
3	HDFC銀行	金融(除く不動産)	7.91%
4	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	7.52%
5	ITC	生活必需品	6.19%
6	タタ・コンサルタンシー・サービス	情報技術	5.04%
7	ICICI 銀行	金融(除く不動産)	2.72%
8	コタック・マヒンドラ銀行	金融(除く不動産)	2.53%
9	マヒンドラ・マヒンドラ	一般消費財・サービス	2.22%
10	ジュビラント・フードワークス	一般消費財・サービス	2.12%
組入全銘柄数: 62		銘柄	上位10銘柄合計 53.52%

◆ 組入上位5業種

業種	比率
金融(除く不動産)	27.68%
情報技術	15.35%
一般消費財・サービス	12.80%
エネルギー	9.02%
生活必需品	8.57%

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本国債(RG4)

【特別勘定が投資する投資信託】

ダイワ日本国債ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 大和証券投資信託委託株式会社

2011年12月30日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

◆ ファンドの特色

主として、マザーファンド(ダイワ日本国債ファンド)の受益証券を通じて、わが国の国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行ないます。

わが国の国債への投資にあたっては、原則として、最長15年程度までの国債を、各残存期間ごとの投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

運用の効率化を図るため、債券先物取引等を利用することがあります。このため、債券およびマザーファンドの受益証券の組入総額ならびに債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	0.65%	0.54%	1.36%	---	---	2.87%

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しております。

◆ ファンド概況

基準価額	10,287円
純資産総額	16百万円
設定日	2011年3月1日
決算日	3月10日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

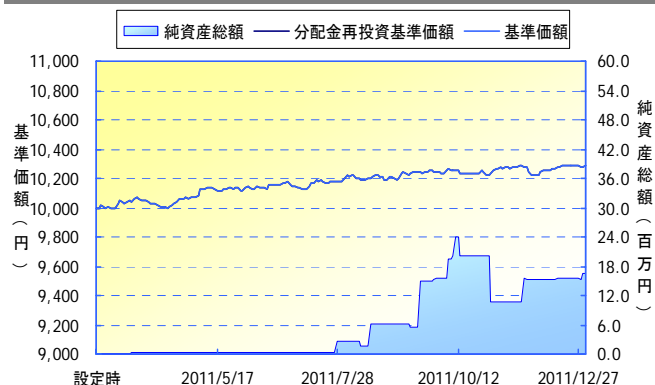
実質債券組入比率	98.55%
うち現物	98.55%
うち先物	---
現預金等	1.45%

◆ 主なリスク

債券の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)他

※上記リスクについては、大和証券投資信託委託株式会社の基準に基づき表記しております。

◆ 基準価額推移グラフ



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、信託報酬は控除しています。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

◆ 市況コメント

12月の国内債券市場は長期債を中心に金利低下局面となりました。11月下旬から上昇が続いていた長期金利は、12月に入ると低下に転じました。EU首脳会議で合意された債務問題への対策が即効性に乏しいとの見方から、海外の格付け会社がEU各国の格下げの可能性を示唆すると、「質への逃避」の流れとなり、10年国債利回りは1%を割り込む水準まで低下しました。その後も長期金利は低位での推移が続く、12月末の10年国債利回りは0.99%近辺と、11月末から0.08%程度低下した水準となりました。なお、12月21日にR&I(格付投資情報センター)が日本国債の格付けを「AAA」から「AA+」へと一段階引き下げましたが、債券市場への影響は限定的でした。

◆ 組入上位10銘柄^{※1}

	銘柄	償還日	クーポン	比率
1	38 利付国債20年	2018/03/20	2.70%	4.55%
2	91 20年国債	2026/09/20	2.30%	4.26%
3	32 利付国債20年	2016/03/21	3.70%	4.01%
4	43 20年国債	2019/09/20	2.90%	4.01%
5	28 利付国債20年	2015/03/20	5.00%	3.94%
6	19 利付国債20年	2012/09/20	5.90%	3.92%
7	23 利付国債20年	2013/09/20	5.50%	3.84%
8	55 20年国債	2022/03/21	2.00%	3.69%
9	34 利付国債20年	2017/03/20	3.50%	3.64%
10	64 20年国債	2023/09/20	1.90%	3.57%
組入全銘柄数:		45 銘柄	上位10銘柄合計	39.43%

※1 比率は純資産総額に対するものです。

※2 比率は債券ポートフォリオに対するものです。

◆ 残存期間別構成比率^{※2}およびポートフォリオの状況

残存年数	ファンド	ファンド
0-1年	6.45%	最終利回り
1-2年	6.46%	直接利回り
2-3年	6.48%	残存年数
3-4年	6.48%	修正デュレーション
4-5年	6.75%	7.60年
5-6年	6.78%	6.82年
6-7年	6.71%	
7-8年	6.79%	
8-9年	6.57%	
9-10年	6.58%	
10-11年	6.85%	
11-12年	6.84%	
12-13年	6.59%	
13-14年	6.86%	
14-15年	6.84%	
15年超	---	

・当資料は、大和証券投資信託委託株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

円ヘッジ債券(RG4)

【特別勘定が投資する投資信託】

アムディ・ジャパン・プラス債券ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称: 円のソムリエVA>

【運用会社】 アムディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

■ マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の国債等に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。このほか、日本を含む世界の国債等に直接投資する場合があります。
 ■ 主として、世界各国のうち信用力の高い国の国債等に実質的に投資を行い、トップダウンによる地域・国配分およびボトムアップによる銘柄選択によりポートフォリオを構築します。
 ■ 実質組入外貨建資産については、原則としてマザーファンドにおいて為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ることをめざします。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	1.40%	2.17%	9.46%	-	-	11.85%

◆ ファンド概況

基準価額	11,185円
純資産総額	44百万円
設定日	2011年3月17日
決算日	原則 1月18日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

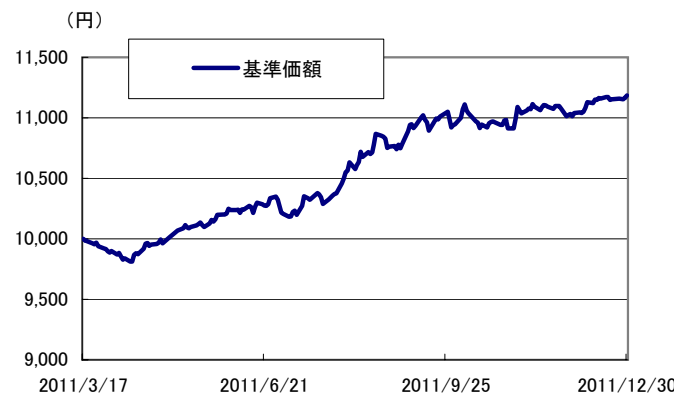
実質債券組入比率	97.26%
現預金等	2.74%

※ 比率は経過利息を含む純資産総額に対する比率です。

◆ 主なリスク

金利変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
 ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

<市場環境>

アメリカとイギリスの長期金利は、月央までは欧州債務問題への懸念や株安により低下しましたが、月後半は横ばい推移し、月を通じては金利低下となりました。フランスについては、月初、各国中銀によるドル資金供給により金融機関の流動性が回復したことから長期金利は低下しました。日本については株安により長期金利は低下しました。

<運用状況>

当ファンドの基準価額は、前月末比1.40%上昇しました。金利が低下した英国債と日本国債の保有がプラス寄与しました。

◆ 組入上位10銘柄^{※1}

	銘柄	償還日	クーポン	比率
1	イギリス国債	2020/09/07	3.75%	13.56%
2	アメリカ国債	2021/05/15	3.13%	12.72%
3	日本国債	2020/03/20	1.40%	12.70%
4	日本国債	2020/03/20	1.30%	12.61%
5	イギリス国債	2019/09/07	3.75%	11.81%
6	日本国債	2020/06/20	1.30%	10.87%
7	イギリス国債	2019/03/07	4.50%	9.94%
8	日本国債	2020/06/20	1.10%	9.31%
9	フランス国債	2020/10/25	2.50%	2.48%
10	フランス国債	2021/04/25	3.75%	1.45%
組入全銘柄数: 11 銘柄		上位10銘柄合計		97.46%

※1 各比率は経過利息を含むマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

◆ 国別組入比率^{※1}

国	比率
日本	45.49%
イギリス	35.31%
アメリカ	12.96%
フランス	3.94%

◆ ファンドの特性値、為替ヘッジ後円ベース最終利回り

平均格付 ^{※2}	AA+	為替ヘッジ後円ベース最終利回り	0.90%
平均最終利回り	1.31%		
平均直接利回り	2.29%		
修正デュレーション	7.54年		

※2 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、当ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外国債(RG4)

【特別勘定が投資する投資信託】

SG 海外国債インカムファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日現在

◆ ファンドの特色

○ 主な投資対象

主として国内籍の投資信託証券「アムディ・海外国債 マザーファンド」を投資対象とします。このほか世界各国の公社債等に直接投資することがあります。

○ 投資方針

・主として日本を除くG7(アメリカ、カナダ、ドイツ、フランス、イタリア、イギリス)各国の政府または政府機関等が発行する債券(ソブリン債)に投資し、インカムゲインを中心とした安定的な収益の確保を目指します。ただし、市場環境によってはG7以外のOECD加盟国が発行するソブリン債に投資することがあります。・原則として為替ヘッジを行いません。・ポートフォリオの構築にあたっては、分散投資を基本としリスク分散を図ります。※ただし、資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、暫定的に上記と異なる運用を行う場合があります。

◆ 基準価額騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.20%	0.56%	-2.77%	1.45%	-6.50%	-21.43%

◆ ファンド概況

基準価額	7,857 円
純資産総額	34百万円
設定日	2007年10月31日
決算日	原則9月15日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質債券組入比率	95.00%
うち現物	95.00%
うち先物	0.00%
現預金等	5.00%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

12月の海外債券市場は、米国、欧州共に上昇しました。イタリアは月中大きく変動したものの、前月末比ではほぼ横ばいとなりました。

米国市場は、欧州の債務危機解決に向けた抜本的な解決には程遠いとの見方が強く、年末を控えて安全資産を求める動きから、米国国債は買われました。月後半になると、住宅にかかわる指標が堅調だったことや、その他の指標でも回復が見られたことで、債券価格は下落基調となりました。しかし、年末にかけては欧州に対する根強い懸念から米国国債が買われ、債券価格は前月末比上昇して月末を迎えました。

欧州も米国とほぼ同様の動きとなりました。イタリアは激しく乱高下したものの、前月末比ではほぼ同水準となりました。ECB(欧州中央銀行)は、政策金利を0.25%引き下げて過去最低に並ぶ1.00%としました。

◆ 組入上位10銘柄^{※1}

	銘柄	償還日	クーポン	比率
1	US TREASURY N/B	2012/6/30	4.875%	9.06%
2	US TREASURY N/B	2014/5/15	4.750%	6.25%
3	US TREASURY N/B	2040/2/15	4.625%	5.77%
4	US TREASURY N/B	2016/5/15	5.125%	5.62%
5	US TREASURY N/B	2016/8/15	4.875%	5.56%
6	US TREASURY N/B	2017/5/15	8.750%	5.41%
7	US TREASURY N/B	2021/11/15	8.000%	4.52%
8	ITALY BUONI POLIENNA	2017/8/1	5.250%	3.28%
9	UNITED KINGDOM TREASURY	2021/6/7	8.000%	2.98%
10	FRANCE GOVT O.A.T	2016/10/25	5.000%	2.82%
	組入全銘柄数: 46 銘柄	上位10銘柄合計		51.26%

※1 比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

◆ 組入上位5か国および5通貨^{※2}

国名	比率	通貨	比率
アメリカ	51.81%	米ドル	51.81%
フランス	12.01%	ユーロ	34.32%
ドイツ	11.51%	英ポンド	10.76%
イタリア	10.80%	カナダドル	3.11%
イギリス	10.76%		

※2 各比率はマザーファンドの組入債券評価額合計に対する比率です。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 ^{※3}	Aaa
修正デュレーション	6.31年
平均終利	1.87%
平均直利	4.53%

※3 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、当ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、

内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

オセアニア債券 (RG4)

【特別勘定が投資する投資信託】

ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープンVA (適格機関投資家専用)
(愛称: 杏の実VA)

【運用会社】 大和証券投資信託委託株式会社

2011年12月30日時点

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

◆ ファンドの特色

主として、マザーファンド(ハイグレード・オセアニア・ボンド・マザーファンド)を通じてオーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての債券(各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。以下「債券等」といいます。)ならびにコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

債券等の格付けは、取得時においてAA格相当以上(ムーディーズでAa3以上またはS&PでAA-以上もしくはフィッチ・レーティングスでAA-以上)とすることを基本とします。

◆ 基準価額騰落率

ファンド	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.36%	5.57%	-3.94%	---	---	0.71%

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しております。

◆ 基準価額推移グラフ



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、信託報酬は控除しています。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

◆ 組入上位10銘柄^{※1}

順位	銘柄	通貨	クーポン	比率
1	WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	豪ドル	8.00%	8.52%
2	QUEENSLAND TREASURY CORP.	豪ドル	6.00%	5.11%
3	QUEENSLAND TREASURY CORP.	豪ドル	6.25%	4.47%
4	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	豪ドル	5.75%	3.48%
5	NEW SOUTH WALES TREASURY CORP.	豪ドル	5.50%	2.95%
6	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	豪ドル	4.75%	2.79%
7	QUEENSLAND TREASURY CORP.	豪ドル	6.00%	2.75%
8	WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	豪ドル	8.00%	2.56%
9	NEW SOUTH WALES TREASURY CORP.	豪ドル	6.00%	2.50%
10	QUEENSLAND TREASURY CORP.	豪ドル	6.50%	2.44%
組入全銘柄数:		104 銘柄	上位10銘柄合計	37.57%

※1 比率は純資産総額に対するものです。

※2 比率は債券ポートフォリオに対するものです。

※格付別構成について、日系発行体はR&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの順で格付けを採用し、海外発行体はMoody's、S&Pの格付けの高い方を採用し、算出しています。

◆ ファンド概況

基準価額	10,071円
純資産総額	207百万円
設定日	2011年3月1日
決算日	5月15日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質債券組入比率	98.98%
うち現物	98.98%
うち先物	---
現預金・その他	1.02%

◆ 主なリスク

債券の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)、為替変動リスク、カントリー・リスク等

※上記リスクについては、大和証券投資信託委託株式会社の基準に基づき表記しております。

◆ 市況コメント

《為替市場》
オセアニア両国ともに今後の金融緩和観測が市場で強まったことに加え、欧米を発端とする資本市場の不安定もあって、12月前半には両国通貨に對円、對米ドルで下落圧力がかけられました。月の後半には、米国の好調な経済指標の発表もあって資本市場のリスクセンチメントがやや改善、年末の薄商いの中で為替相場も回復を見せて12月を終えました。

《債券市場》
豪州では12月も先月に引き続き利下げが行われ、ニュージーランドでは政策金利は据え置かれましたが利上げを示唆する表現が声明文から削除されました。両国ともに今後の緩和姿勢への期待が市場で強まったことから、債券利回りは低下が先行しました。欧州では債務問題の不透明感が続き、世界的に株安・債券高傾向が継続、オセアニア債券市場にも金利低下をもたらしました。

◆ 債券種別および通貨別構成^{※1}

種別	比率	通貨	比率
州債	45.23%	豪ドル	93.34%
国際機関債	20.97%	ニュージーランドドル	7.04%
政府機関債	18.78%	日本円	-0.39%
国債	14.00%		

◆ ポートフォリオの状況および格付別構成^{※2}

最終利回り	4.49%	格付別	比率
直接利回り	5.92%	AAA	100.00%
修正デュレーション	3.94年	AA	---
残存年数	4.86年	A	---
		BBB	---
		BB	---

・当資料は、大和証券投資信託委託株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

ブラジル債券 (RG4)

【特別勘定が投資する投資信託】

りそな ブラジル・ソブリン・ファンドVA (適格機関投資家専用)

【運用会社】 大和証券投資信託委託株式会社

2011年12月30日時点

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

◆ ファンドの特色

主として、マザーファンドの受益証券を通じて、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

マザーファンドにおけるブラジル・レアル建債券への投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。

※ 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。

※ 固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50%程度以上とします。

※ 投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。

マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、イタウ・ユニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.69%	2.29%	-11.41%	---	---	-6.01%

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しております。

◆ 基準価額推移グラフ



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、信託報酬は控除しています。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

◆ 組入上位10銘柄^{※1}

	銘柄	償還日	クーポン	比率
1	Brazil Letras do Tesouro Nacional	2012/07/01	0.00%	15.93%
2	Brazil Letras do Tesouro Nacional	2015/01/01	0.00%	15.59%
3	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	2017/01/01	10.00%	13.19%
4	Brazil Letras do Tesouro Nacional	2013/07/01	0.00%	8.18%
5	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	2014/01/01	10.00%	7.88%
6	Brazil Letras do Tesouro Nacional	2013/04/01	0.00%	5.93%
7	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	2021/01/01	10.00%	5.01%
8	Brazil Letras do Tesouro Nacional	2013/01/01	0.00%	4.37%
9	Brazil Letras do Tesouro Nacional	2014/01/01	0.00%	4.35%
10	Brazil Letras do Tesouro Nacional	2012/04/01	0.00%	4.30%
組入全銘柄数: 17 銘柄		上位10銘柄合計		84.73%

※1 比率は純資産総額に対するものです。

※2 比率は債券ポートフォリオに対するものです。

※格付別構成について、日系発行体はR&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの順で格付けを採用し、海外発行体はMoody's、S&Pの格付けの高い方を採用し、算出しています。

・当資料は、大和証券投資信託委託株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

◆ ファンド概況

基準価額	9,399円
純資産総額	154百万円
設定日	2011年3月1日
決算日	4月25日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質債券組入比率	98.13%
うち現物	98.13%
うち先物	---
現預金・その他	1.87%

◆ 主なリスク

債券の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)、為替変動リスク、また、新興国への投資リスクなどがあります。

※上記リスクについては、大和証券投資信託委託株式会社の基準に基づき表記しております。

◆ 市況コメント

ブラジルの第3四半期GDP(国内総生産)は対前年比2%台と第2四半期から低下し、第4四半期に入ってからも鉱工業生産が弱含みで推移するなど、生産面を中心に景気下振れリスクがあると考えます。これに対し政府は利下げに加えて、家電等の工業製品税引き下げなどの景気対策を発表しました。財政は健全化を推し進めて改善しており、2011年の基礎的財政収支目標は達成される見通しとなっています。

11月の広範囲消費者物価指数(IPCAインフレ率)は前年比で6.6%台と10月から低下し、2012年に入ってから低下が見込まれています。ブラジル中央銀行は、11月の金融政策委員会(Copom)で市場の予想通り政策金利を0.50ポイント引き下げ11.00%としました。中央銀行は声明文において、「国際環境からの影響をタイムリーに緩和するために、政策金利を緩やかに調整することは、2012年にインフレ率をターゲットに収れんさせることと整合的である」と前回、前々回と同様に述べています。現状では中央銀行の予想通りの経済環境となっており、ブラジル経済を下支えするために次回1月の委員会でも利下げの継続が想定されます。

ブラジル債券市場では、今後の利下げ幅拡大の見方が後退したことや景気対策が発表されたことなどから金利は上昇しました。通貨ブラジル・レアルの対円レートは、経済成長鈍化懸念や世界的なリスク回避の動きなどを受けて下落しました。

◆ 債券種別および通貨別構成^{※1}

種別	比率	通貨	比率
国債	98.13%	ブラジルレアル	99.97%
割引債	58.65%	日本円	0.03%
固定利付債	26.08%		
物価連動債	13.40%		

◆ ポートフォリオの状況および格付別構成^{※2}

最終利回り	9.83%	格付別	比率
直接利回り	9.76%	AAA	---
修正デュレーション	2.34年	AA	---
残存年数	3.04年	A	100.00%
		BBB	---
		BB	---

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

グローバルリート(RG4)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAグローバルREITファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

【投資顧問会社】 株式会社 りそな銀行

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

・日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券を主要投資対象とする「CAグローバルREITマザーファンド」の受益証券に主として投資し信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	4.68%	6.35%	-10.99%	-4.93%	47.81%	-38.51%

◆ ファンド概況

基準価額	6,149円
純資産総額	175百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質不動産投資信託証券比率	98.53%
現預金等	1.47%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

12月の海外REIT市場は小幅反発しました。上旬は、日・米・欧などの中央銀行による協調的な資金供給策を受けて欧州債務問題への不安が和らいだことから堅調に推移しましたが、中旬は欧州諸国の格下げ懸念やイタリア国債入札の不調などから下落しました。下旬は、米国の住宅着工などの経済指標の改善や、ECB(欧州中央銀行)の資金供給策の拡充などにより欧州金融機関の資金繰り懸念が緩和したことから上昇に転じました。国別では、米国が上昇、英国が下落しました。

日本のREIT市場は、月初は海外市場の上昇などから上昇する局面もみられましたが、その後固定資産税の軽減特例が一部廃止される方向と報じられたことやオフィス空室率が2か月連続で悪化したことなどが嫌気され軟調な展開となりました。月末にかけては、ホテル系REIT2社の合併が発表されましたが、月間では8か月連続の値下がりとなりました。東証REIT指数は前月末比1.5%の下落となりました。

◆ 組入上位10銘柄*

	銘柄	国	通貨	比率
1	SIMON PROPERTY GROUP	アメリカ	米ドル	5.68%
2	WESTFIELD GROUP	オーストラリア	豪ドル	2.90%
3	PUBLIC STORAGE	アメリカ	米ドル	2.89%
4	HCP	アメリカ	米ドル	2.55%
5	EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ	米ドル	2.52%
6	UNIBAIL-RODAMCO	フランス	ユーロ	2.44%
7	VENTAS	アメリカ	米ドル	2.40%
8	BOSTON PROPERTIES	アメリカ	米ドル	2.14%
9	VORNADO REALTY TRUST	アメリカ	米ドル	2.12%
10	PROLOGIS	アメリカ	米ドル	1.97%
組入全銘柄数: 169 銘柄		上位10銘柄合計		27.60%

◆ 組入上位5か国*

国名	比率
アメリカ	56.46%
日本	14.54%
オーストラリア	9.74%
イギリス	4.59%
フランス	4.23%

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

マネープール(RG4)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2011年12月30日 現在

◆ ファンドの特色

・主として本邦通貨表示の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行うとともにあわせてコール・ローンなどで運用を行うことで流動性の確保を図ります。

◆ 基準価額騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.01%	0.01%	0.02%	0.05%	0.22%	0.68%

◆ ファンド概況

基準価額	10,068円
純資産総額	935百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

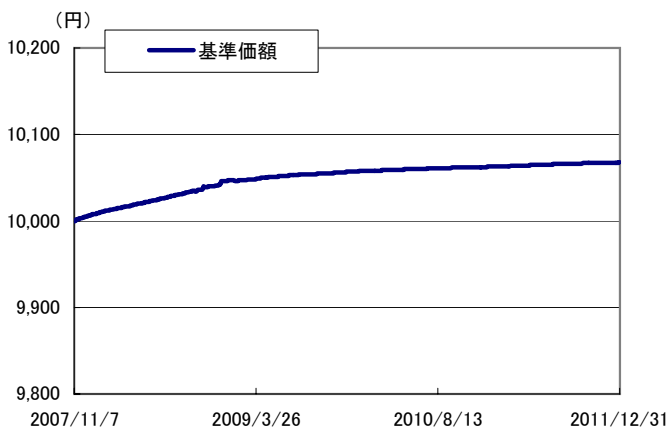
◆ 資産構成比

公社債	80.23%
現預金等	19.77%

◆ 主なリスク

金利変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位5銘柄[※]

	銘柄名	償還日	比率
1	第235回国庫短期証券	2012/5/14	21.39%
2	第205回国庫短期証券	2012/1/13	16.05%
3	第213回国庫短期証券	2012/2/10	10.70%
4	第220回国庫短期証券	2012/3/9	10.70%
5	第227回国庫短期証券	2012/4/10	10.70%
組入全銘柄数 6 銘柄		上位5銘柄合計	69.53%

※ 比率は純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄（・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等）を記載しております。必ずご確認ください。

ご注意ください事柄

＜投資リスクについて＞

- 変額個人年金保険(11)「Newチョイス&チェンジ」は、特別勘定の運用実績によって積立金額、死亡保険金額、解約払戻金額、および将来の年金原資額が変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定における資産運用には、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク等のリスクがあり、運用実績によっては年金原資額や解約払戻金額が一時払保険料の合計額を下回り、ご契約者に損失が生じるおそれがあります。これらのリスクはご契約者に帰属しますのでご注意ください。

＜お客さまにご負担いただく費用について＞

- この商品にかかる費用は、「運用関係費用」「契約管理費用」「危険保険料」「年金管理費用」の合計額になります。また、1保険年度につき16回以上スイッチング(積立金の移転)を行った場合は、16回目から「特別移転費用」がかかります。なお、契約日(増額日)から5年未満に解約・一部解約または据置期間付年金に移行する場合には「解約控除」がかかります。

	項目	内容	費用	ご負担いただく時期等
積立 期間中	運用関係費用*1	特別勘定の運用に関わる費用で、特別勘定の投資対象とする投資信託の信託報酬等です。	信託報酬として 実質税込: 最大年率0.9975%程度	各特別勘定が投資対象とする投資信託の純資産総額に対して、所定の年率を乗じた金額の1/365を毎日控除します。
	契約管理費用*2	ご契約の締結、維持管理等に必要な費用です。	マネーパール(RG4)または日本国債(RG4)の場合 年率1.00% そのほかの特別勘定の場合 年率1.25%	特別勘定の積立金額に対して、左記の年率を乗じた金額の1/365を毎日控除します。
	危険保険料*3	死亡保険金の最低保証に必要な費用です。	危険保険金額(積立金額が基本保険金額を下回った額)に対して 年率0.029%～年率9.204%	積立金額が基本保険金額を下回った場合、その日の危険保険金額に危険保険料率の1/365を乗じた金額を控除します。
	特別移転費用	スイッチングを行う場合で、1保険年度につき16回目からかかる費用です。	1回につき 1,000円	1保険年度につき16回目からのスイッチング時に、積立金より控除します。
	解約控除*4	契約日(増額日)から5年未満に解約・一部解約または、据置期間付年金に移行する場合に必要な費用です。	基本保険金額*5に対して 5%～1%	契約日(増額日)からの経過年数に応じた解約控除率を乗じた金額を、解約・一部解約・据置期間付年金への移行時に控除します。
年金支払 期間中	年金管理費用*6	年金の支払や管理等に必要な費用です。	支払年金額に対し、 1%	年金支払開始日以後、年1回の年金支払日に控除します。

- *1 運用関係費用は、信託報酬に加えて信託事務に関する諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等がかかります。これらの費用は、各投資信託の運用状況等によって異なりますので、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、運用関係費用は運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。各特別勘定の運用関係費用について詳しくは、「特別勘定のしおり」をご覧ください。
- *2 マネーパール(RG4)を選択した場合、マネーパール(RG4)の運用収益率が年率1.00%未満のときは、契約管理費用は1保険年度90日までマネーパール(RG4)の運用収益相当額を上限とします。
- *3 「危険保険料」とは、死亡保険金額の最低保証に必要な費用で、費用発生時点の「危険保険金額(積立金額が基本保険金額を下回った場合の差額)」や被保険者の年齢・性別によって異なります。なお積立金額が基本保険金額を下回らなかった場合、「危険保険料」は発生しません。詳しくは「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。
- *4 解約控除について詳しくは、「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。
- *5 一部解約の場合は、基本保険金額に、一部解約日の積立金額に対する一部解約請求金額の割合を乗じた金額となります。
- *6 年金原資を一括でお支払いする場合、年金管理費用はかかりません。また年金管理費用は、将来変更される可能性があります。

＜その他＞

- この商品は、クレディ・アグリコル生命保険株式会社を引受保険会社とする変額個人年金保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また預金保険制度の対象ではありません。
- 解約・一部解約した場合の解約払戻金額に最低保証はありません。
- 引受保険会社の業務または財産の状況の変化により、ご契約時にお約束した保険金額、年金額等が削減されることがあります。

当商品に関する詳細については、「商品パンフレット 兼 契約締結前交付書面＜契約概要／注意喚起情報＞」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等でご確認ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】

クレディ・アグリコル生命保険株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号 汐留住友ビル
カスタマーサービスセンター 0120-60-1221

受付時間 月～金曜日 9:00～17:00(祝休日・年末年始の休日を除く)

Webサイト <http://www.ca-life.jp/>

CAL1201-MKB11RG20-1